資料1-4

中央環境審議会 水環境・土壌農薬部会
生活環境の保全に関する水環境小委員会（第２回）ヒアリング資料

伊勢湾（愛知県）における水環境の現状

２０２５年５月２１日（水）

愛知県環境局環境政策部水大気環境課

目次

１　愛知県における水環境改善の取組

２　愛知県における水質の現状

1　愛知県における水環境改善の取組

○　水質総量削減計画に基づくＣＯＤ、窒素及びりんの削減等

1．陸域における汚濁負荷量の削減

・事業場に対する総量規制基準による排出規制
　（対象：約1,500事業場）
・下水道、合併処理浄化槽整備など生活排水処理対策を計画的に推進
　汚水処理人口普及率　87.6%（2013年度）→93.2%（2023年度）
　下水道普及率　　74.7%（2013年度）→81.5%（2023年度）
・未規制事業場等の指導　　等

2．海域における環境改善事業

・干潟・浅場・藻場の再生
・覆砂及び浚渫、深掘跡の埋戻し
・水質の保全と「豊かな海」の両立に向けた社会実験　等

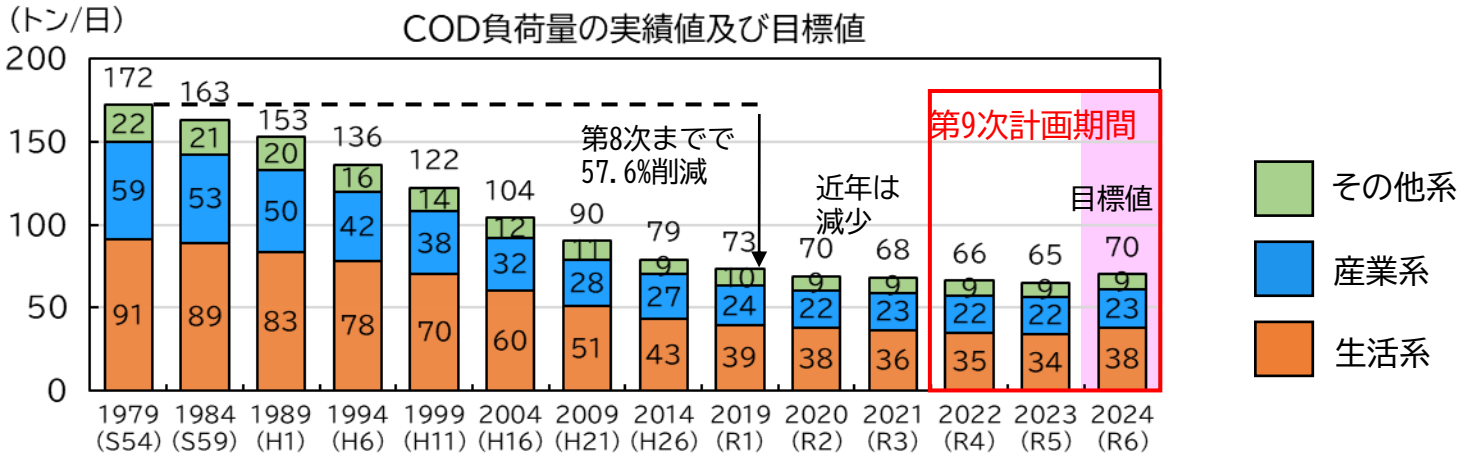
3．啓発事業

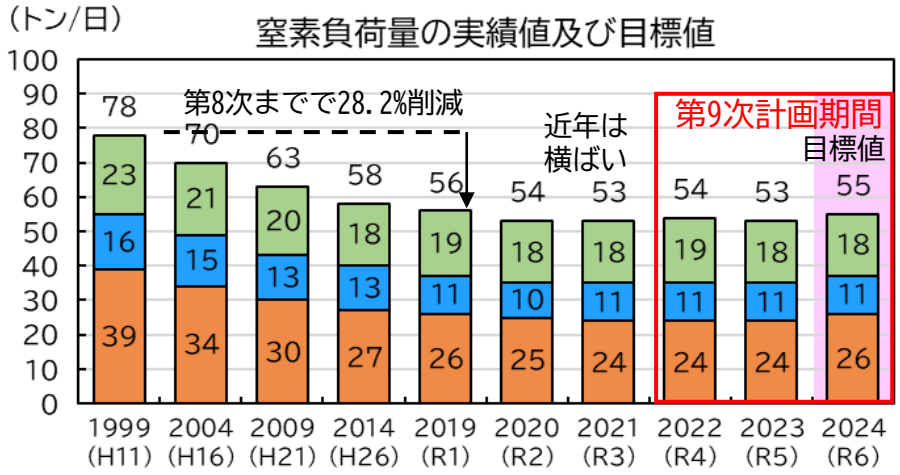
・三河湾の環境再生に向けての県民の機運を高めることを目的とした、「三河湾環境再生プロジェクト」による啓発イベント　等

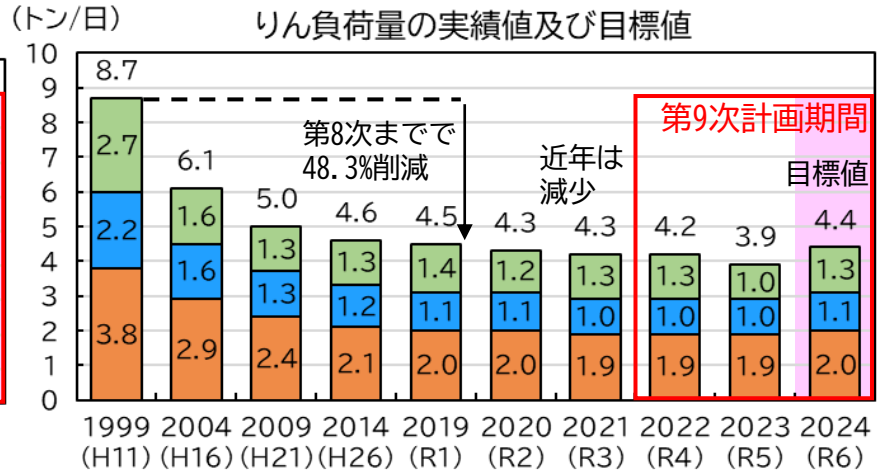
1　愛知県における水環境改善の取組

○　ＣＯＤ、窒素及びりん負荷量の実績

- ＣＯＤ・窒素・りんとも順調に負荷量を削減
- 2020～2023年度は、ＣＯＤ、窒素、りんは第９次総量削減計画の削減目標値を達成



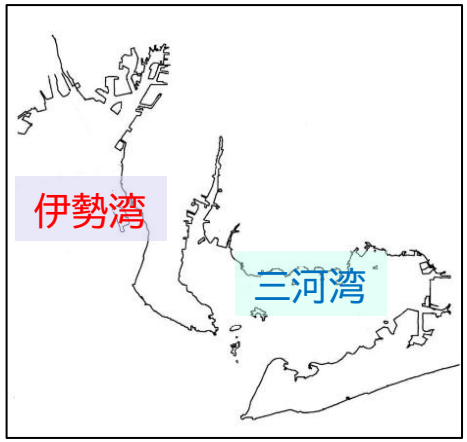


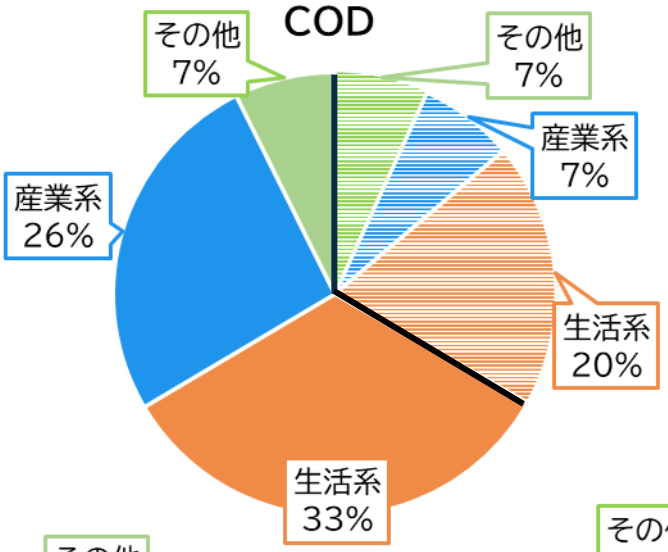


1　愛知県における水環境改善の取組

○　ＣＯＤ、窒素及びりん負荷量の実績（湾別、2023年度）

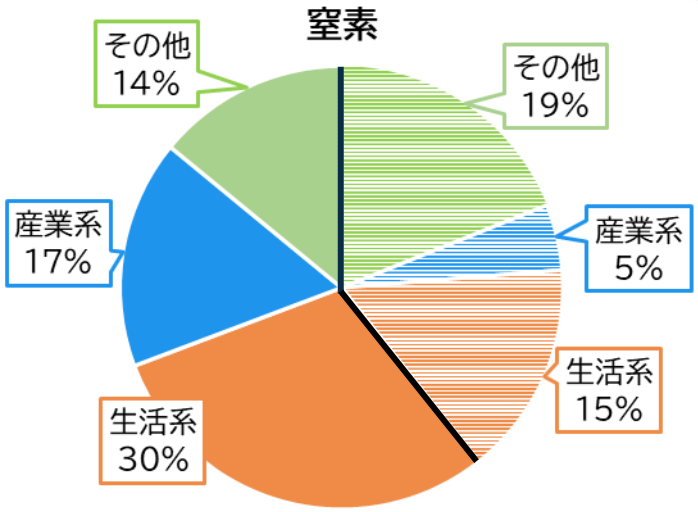
・ 全県の負荷量のうち、ＣＯＤ：約７割、窒素及びりん：約６割が伊勢湾に流入。

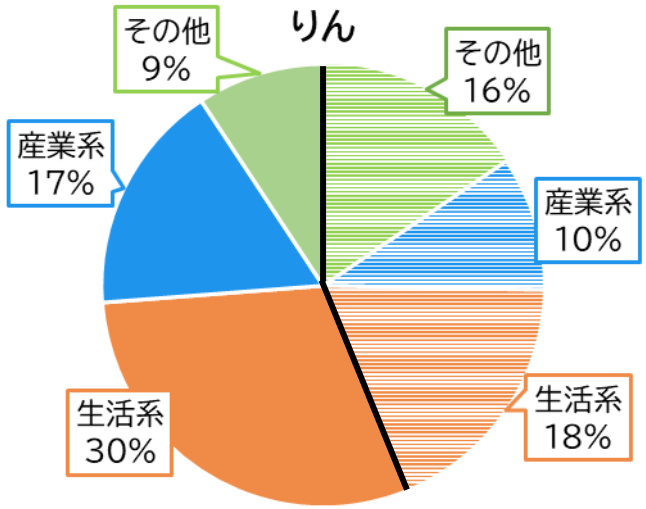




伊勢湾
- その他系
- 産業系
- 生活系

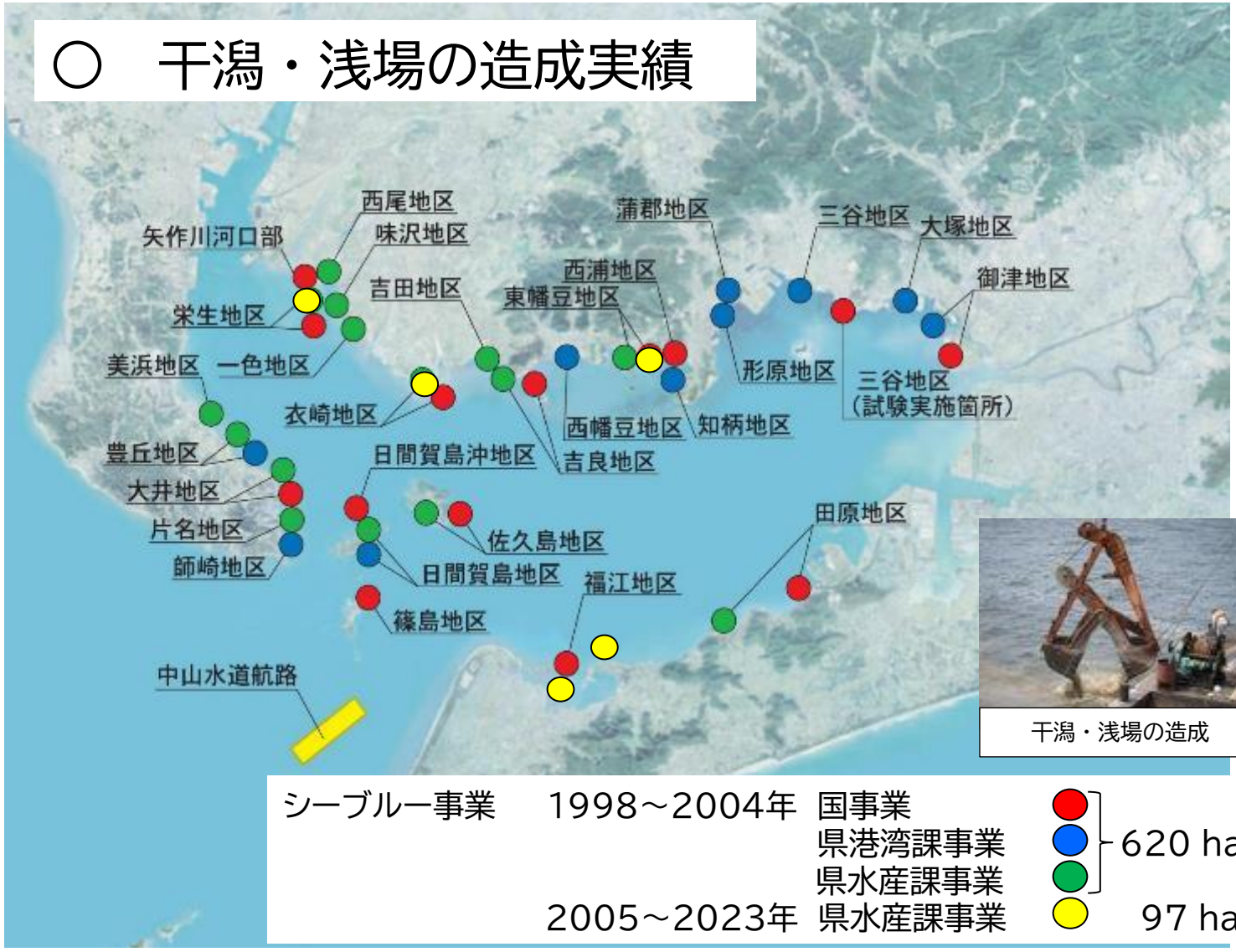
三河湾
- その他系
- 産業系
- 生活系





1　愛知県における水環境改善の取組

○　干潟・浅場の造成実績



干潟・浅場の造成

シーブルー事業	1998～2004年	国事業	●	620 ha
		県港湾課事業	●	
		県水産課事業	●	
	2005～2023年	県水産課事業	●	97 ha

2　愛知県における水質の現状

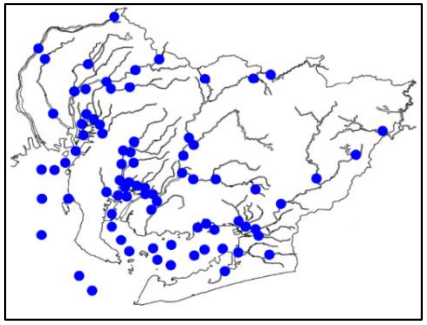
○　環境基準の達成率

最近10年の傾向では、

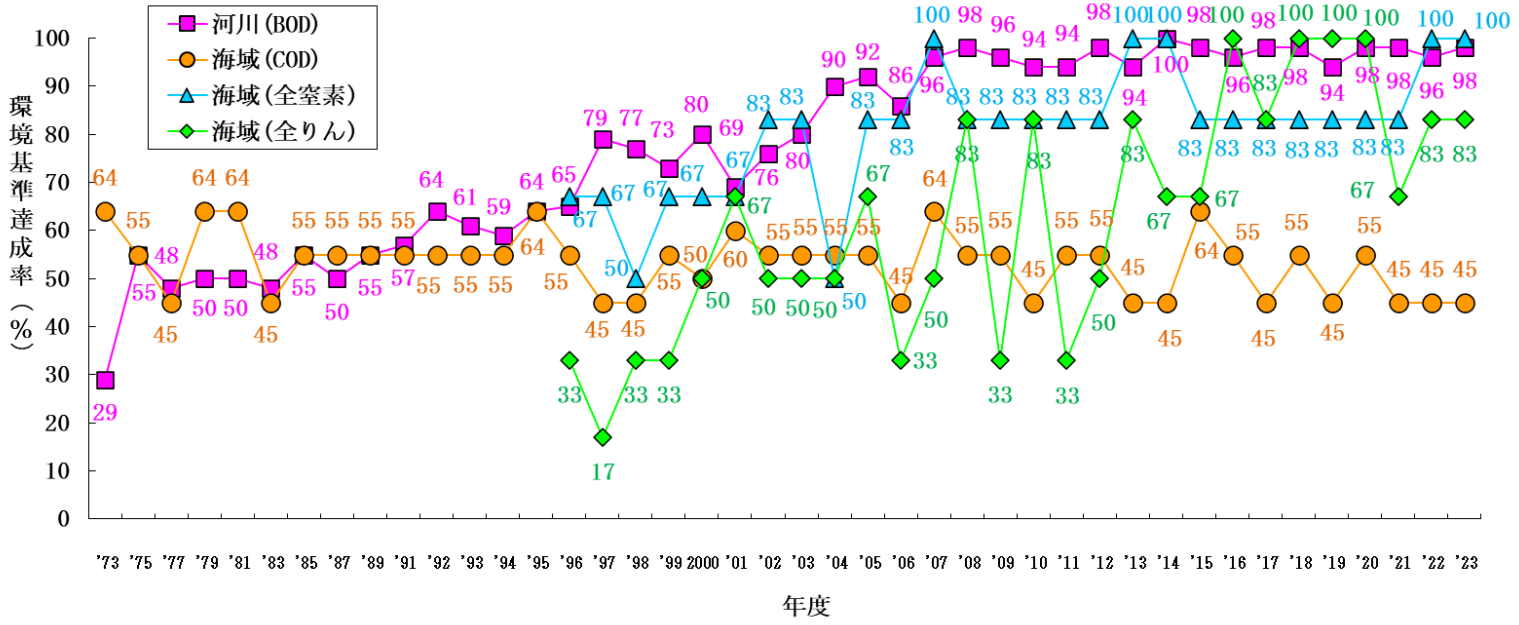
・河川：ＢＯＤは、90%以上を維持。

・海域：全窒素は、83～100%、全りんは、67～100%で推移（長期的には改善し、横ばい）。

ＣＯＤは、45～64%で横ばいの状況が継続



愛知県内の環境基準点



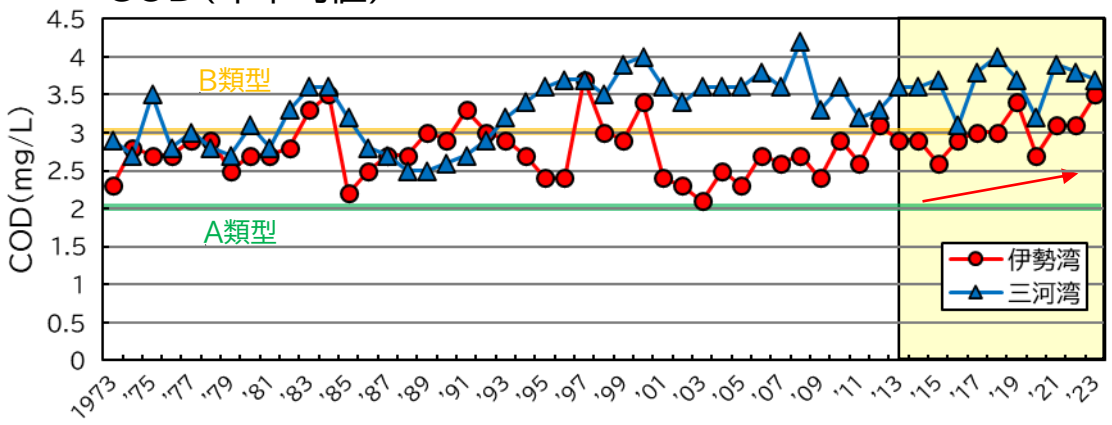
（注）　達成率（%）＝（達成水域数）÷（総水域数）×100

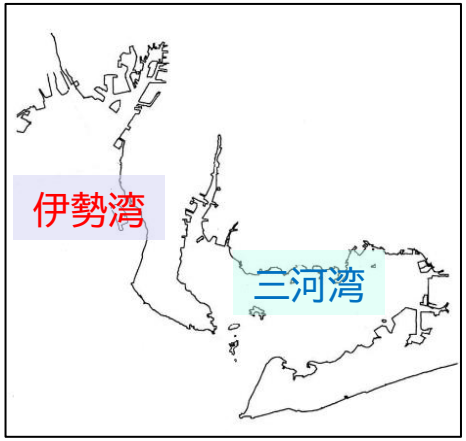
2　愛知県における水質の現状

○　海域における水質の推移（湾別）

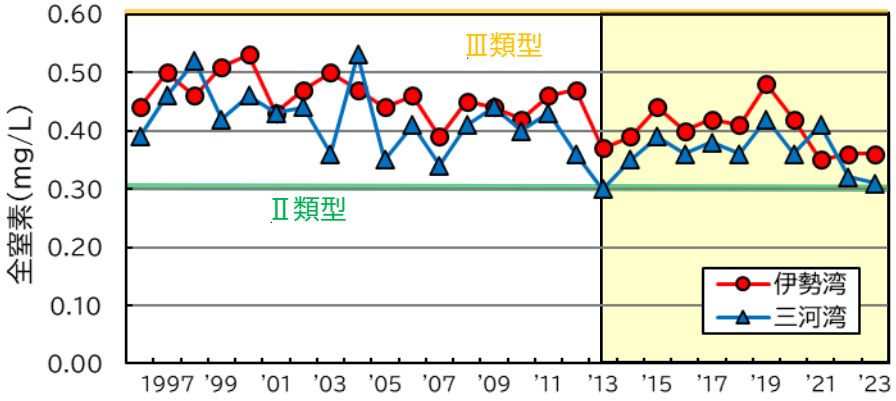
最近10年の傾向では、ＣＯＤが伊勢湾では上昇傾向。三河湾では横ばい。
全窒素及び全りんは、伊勢湾及び三河湾ともに横ばい。

COD（年平均値）

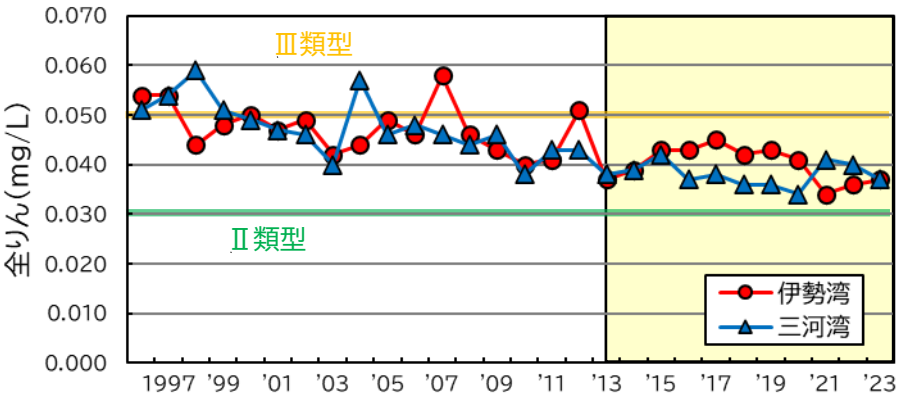




全窒素（年平均値）



全りん（年平均値）



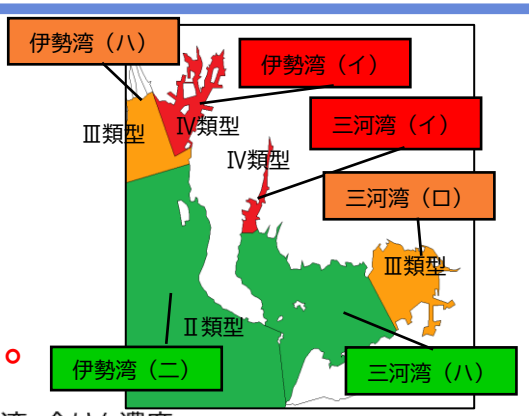
（注）愛知県の各環境基準点における年間平均値を用いて算出した。

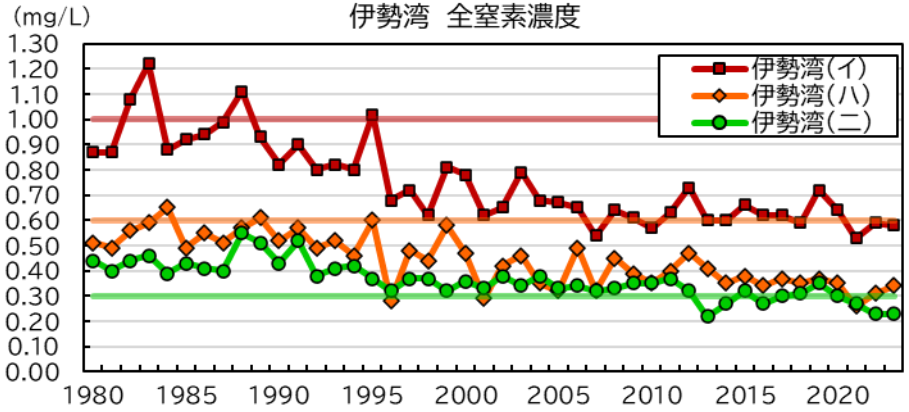
2　愛知県における水質の現状

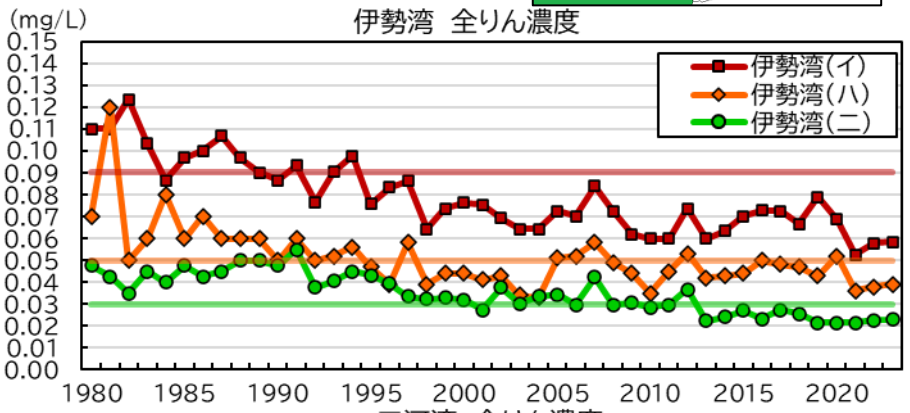
○ 海域における全窒素・全りん濃度（水域別）

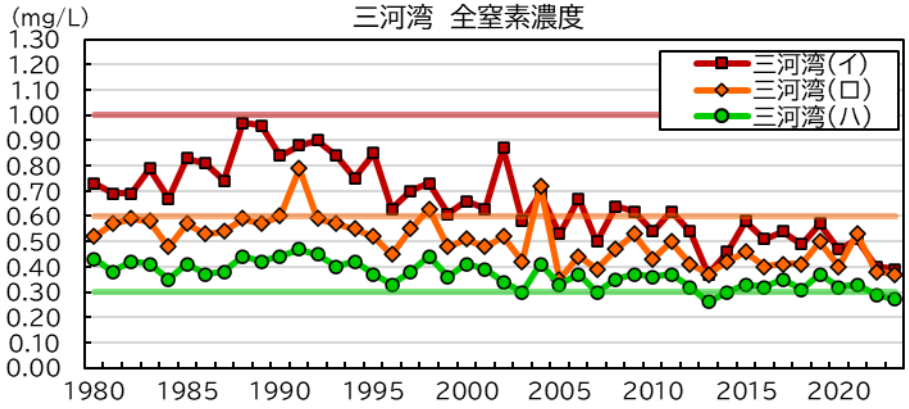
・ 長期的には、全ての水域で減少傾向。

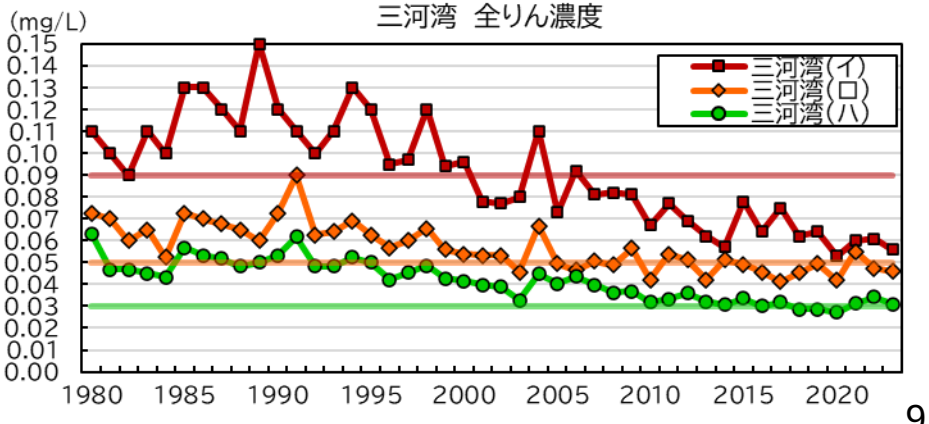
【課題】
・特にⅡ類型の海域において、
ノリ・アサリに必要な栄養塩類の不足が指摘されている。









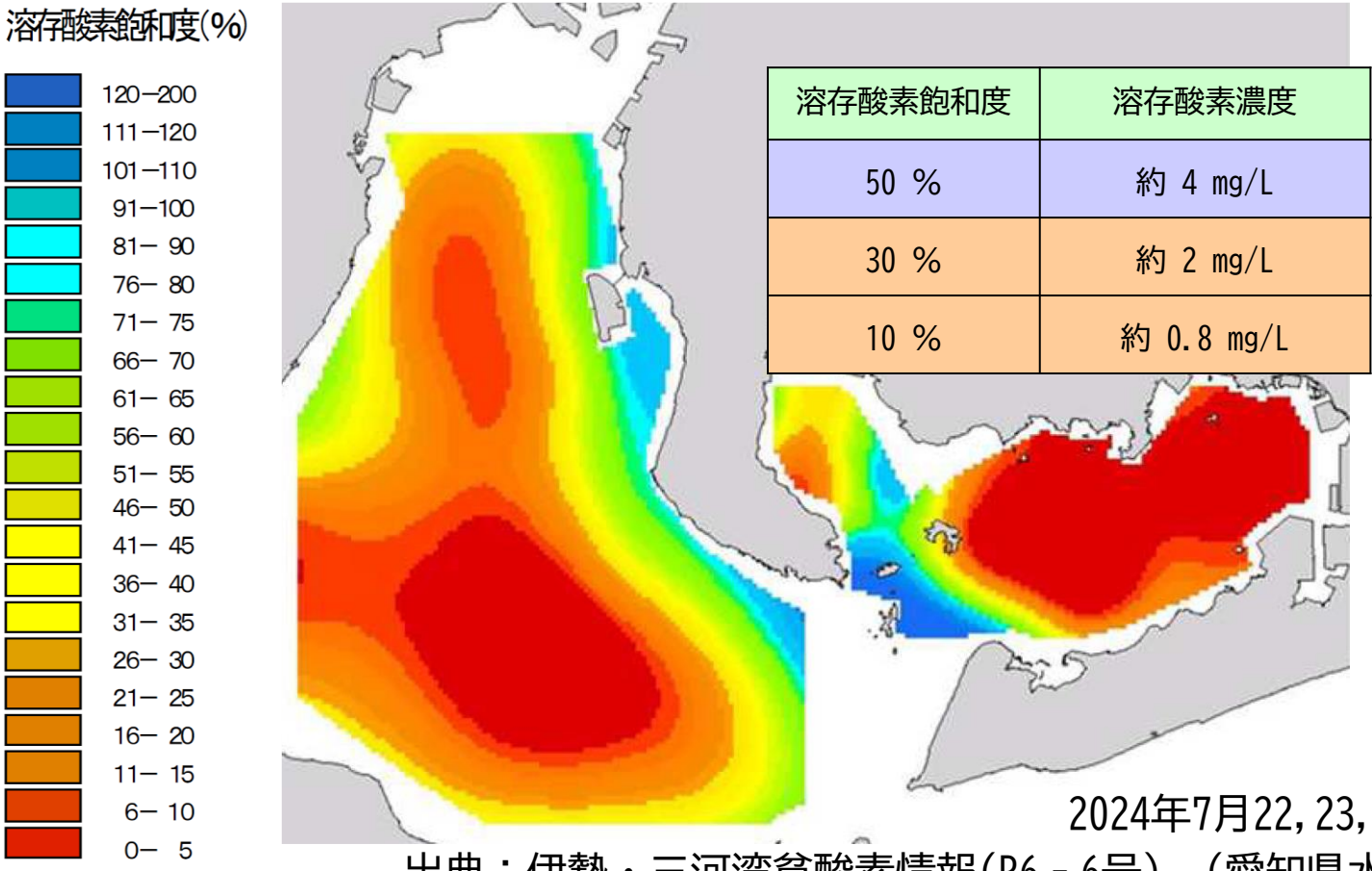


（注）愛知県の各環境基準点における年間平均値を用いて算出した。

2　愛知県における水質の現状

○　貧酸素水塊の発生状況

・　伊勢湾、三河湾では、底層溶存酸素量が２mg/Ｌを下回る貧酸素水塊が夏季に毎年発生している（規模や期間は、毎年異なる）。



溶存酸素飽和度	溶存酸素濃度
50 %	約 4 mg/L
30 %	約 2 mg/L
10 %	約 0.8 mg/L

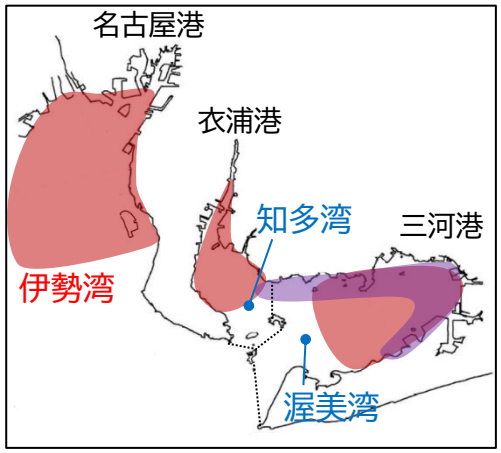
2024年7月22, 23, 25日調査

出典：伊勢・三河湾貧酸素情報(R6－6号)　（愛知県水産試験場）

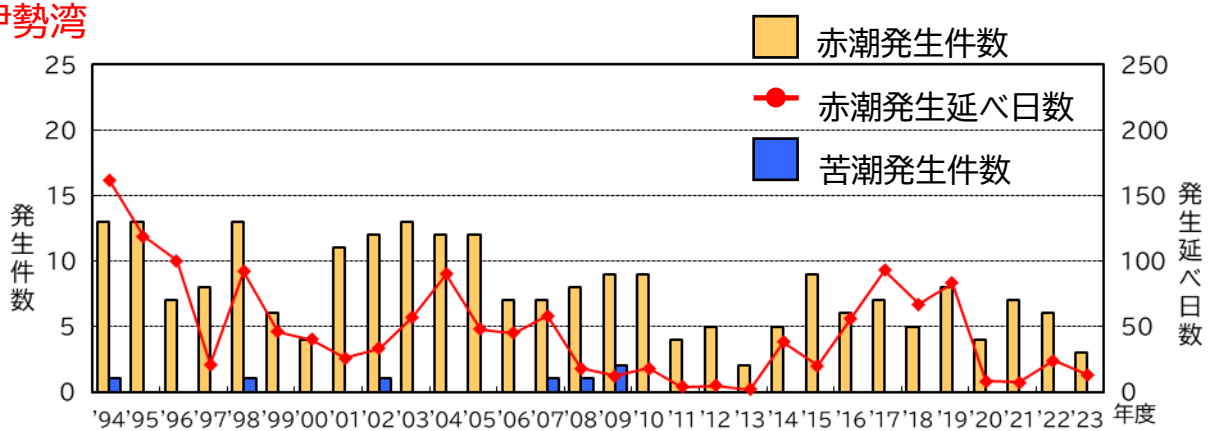
2　愛知県における水質の現状

○　赤潮・苦潮の発生状況

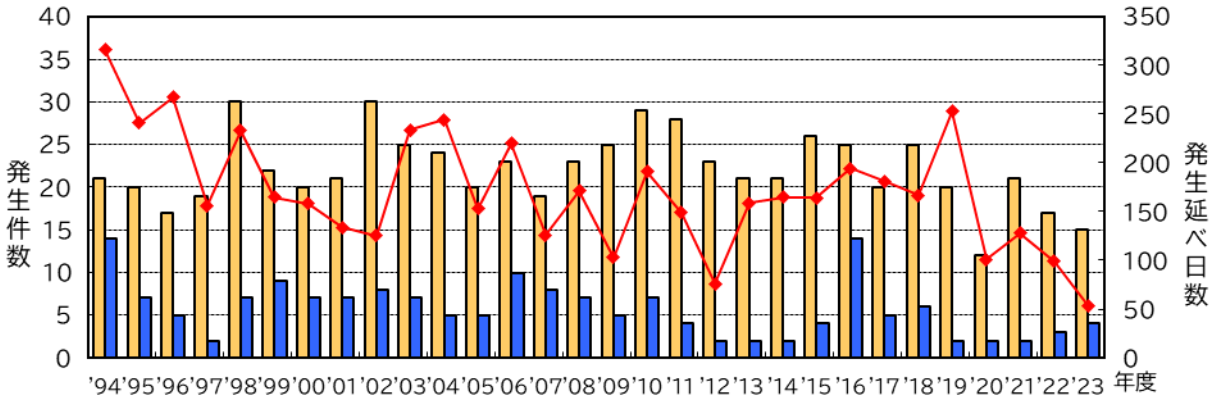
- 赤潮は伊勢湾、三河湾ともに湾奥で起こりやすい。
- 赤潮発生延べ日数は、長期的には減少傾向だが、増加傾向となった期間もある。
- 苦潮は三河湾の湾奥で起こりやすく、発生件数は、年により変動が大きい。



伊勢湾



三河湾（知多湾＋渥美湾）



（注）三河湾は知多湾と渥美湾の調査結果の合計値　　資料：愛知県農業水産局調べ

まとめ

・これまでの水質総量削減計画に基づく取組等により、陸域からの窒素・りん負荷量は削減が進み、海域濃度も減少傾向であるものの、貧酸素水塊、赤潮・苦潮の発生は見られる

・一方、ノリ・アサリに必要な栄養塩類の不足が指摘されている

・水質の保全と「豊かな海」の両立に向けた社会実験の実施

・「愛知県栄養塩管理検討会議」において、
漁業生産に必要な望ましい栄養塩管理のあり方を検討